

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2007

文化通

夏

6月1日発行(季刊)



茶机「天遊卓」は、茶室に替わる道具であった!

てっきり新しい立礼卓だと思っていたら、どうも違うようだ。実際に茶会で使ってみると、それを置いた場所がそのまま茶室になってしまった。普段の生活の場が、そのまま茶室になってしまうというのは、すごいことだと思いますか。

千宗屋若宗匠の講演と茶会 茶机「天遊卓」に遊ぶ
6月から8月までの茶華道・イベント情報を掲載
平成19年度助成金交付団体決定のお知らせ

千宗屋若宗匠の講演と茶会

茶机「天遊卓」に遊ぶ

平成十九年三月二十五日(日) 茶の湯をさらに楽しむ会の企画として実施された、武者小路千家の千宗屋若宗匠のご講演とお茶会が、財団の茶室「美藻庵・晴松亭」を舞台として行われた。昨年、発表された茶机「天遊卓」についてのお話と、それを実際に使用しての若宗匠の濃茶席。それと対比する意味で伝統的な小間での薄茶席という構成で、茶の湯のワークショップをお楽しみいただきました。当日は流派を超えて多くのお客様が関心を持つて席に入られました。

茶机「天遊卓」について

ちやき・てんゆうじょくと読みます。昨年十月に東京で行われた武者小路千家の全国大会で発表された、新しい発想の立札卓です。使い方の特徴から、

従来の立札卓という言葉が相応しくないのではないかとすることもあって、「茶机」と命名されたそうです。

新しいジャンルを目指した「茶机」

のコンセプトは、現代の多様な生活環境の中で、もっと気軽に茶を楽しむための道具を創りたいということでし

た。若宗匠が東京で在学中の折から構み合わせで、重厚な仕上がりで、好評を博しました。

もうひとつが、今回ご紹介する茶机「天遊卓」で、こちらは全く違う考

え方で創られました。新しい道具にも古い道具にも対応できるクオリティーと持ち運びしやすい利便性を備え、さら

想が始まり、二年前、通産省のジャパンブランド開発プロジェクトに参加され

たのを契機に具体的になりました。

武者小路千家は、かつて讃岐高松藩の茶頭として迎えられた家です。偶然

にも、同プロジェクトで香川県から推薦された牟礼の桜製作所と若宗匠のコラボレーションが実現することとなり、

二種類の立札卓の開発が始りました。

そのうちひとつは、高松商工会議所の貴賓室にあるのでご存知の方も多いと思いますが、ウォールナットの分厚い一枚板と手彫りの庵治石の丸炉の組み合わせで、重厚な仕上がりで、好評を博しました。

「天遊卓」で、こちらは全く違う考

え方で創られました。新しい道具にも古

い道具にも対応できるクオリティーと持ち運びしやすい利便性を備え、さら

に価格的にリーズナブルに押さえられ、茶の湯の道具としていろいろな茶会に対応できるような工夫が、各所に見られます。参加された皆様からも「これでお茶を続ける希望が出たわ」とか「椅子に座つて炉の点前が出来るなんて」とかご好評をいただきました。

ご存事のように現代は史上始まって以来の高齢化時代といわれておりますが、足腰の衰えに対して医学の発達が対応できません。実際、お茶席でも痛くて正座が出来ない方が年々増えておりますし、恐縮されてお茶席に行く楽しみをあきらめてしまう方も多いよう

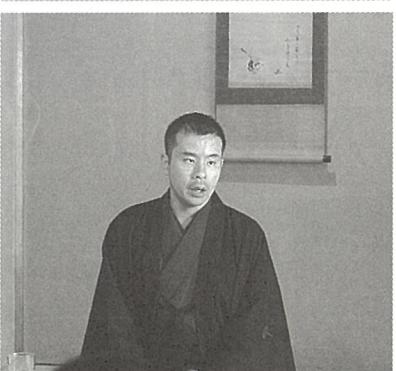
になります。このような言葉がでたのでは

他にもたくさん立札卓はあります

が、どちらかというとデザイン的にも和を意識し過ぎたものが多々、生活の場で日常的に使われるものではありませんでした。実際に立札卓が使用される場面というのは、例えば、献茶の副席とかイベントやホテルで催す大人数の茶会とか、いわゆる公式の場で使われることが多い、客席との距離が大きく離れた配置で、いわばお茶の点前のデモンストレーションをするという感じになりました。

「立札席」の言葉は、茶席で、主に半東が立つてサービスをする席ということから付いた名前ですから、亭主と客の距離は離れているのが前提です。

また、テーブルの高さや、床の材質などから、道具に対するリスクが大きくなりがちでした。

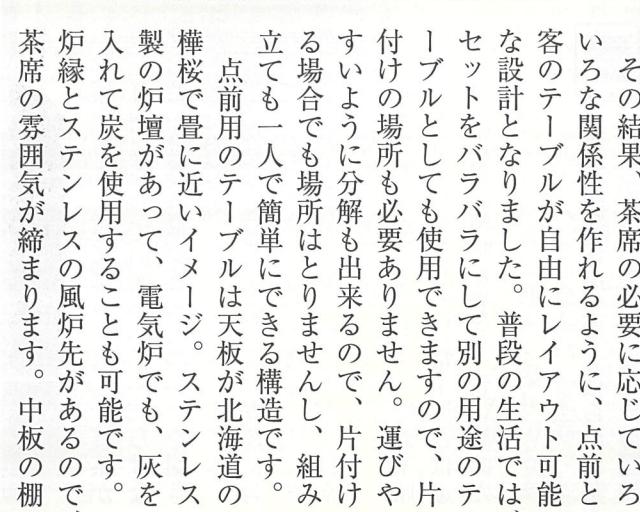


こともよく言わることです。

茶机「天遊卓」の思索

少し前の家でしたらどの家にも座敷があつて、わざわざ茶室を造らなくて、座敷を片付けて、床に掛け物を掛けて花を入れ、道具を持ち出せば簡単にお茶が出来ました。いわば、生活の隣でお茶を楽しむ場がありました。

しかし近年の日本人の衣・食・住の生活環境は劇的に変化しています。現代の家は畳の部屋が極端に少ない傾向があり、既に椅子が中心の生活です。若宗匠は、これまでこの変化を意識して開発された立札卓は無かったのではなかいか、もつと生活の中で気軽にお茶を楽しむための道具が必要なのではないかということから、折に触れて考えてこられたそうです。



昔の人が生活のすぐ隣でお茶を楽しんだのと同じような距離感を実現するには?とか、いろいろな思索の中から生まれたのがこの「天遊卓」です。点前と客のテーブルが一体になったものを創りたい。

膝に限りなく近い高さで、座敷で道具を扱うのに近い高さを追求したい。あまり和にシフトすること無くモダンでシンプルなデザインであること。

その結果、茶席の必要に応じていろいろな関係性を作れるように、点前と客のテーブルが自由にレイアウト可能な設計となりました。普段の生活では、セットをバラバラにして別の用途のテーブルとしても使用できますので、片付けの場所も必要ありません。運びやすいように分解も出来るので、片付ける場合でも場所はとりませんし、組み立ても一人で簡単にできる構造です。

点前用のテーブルは天板が北海道の樺桜で畳に近いイメージ。ステンレス製の炉壇があつて、電気炉でも、灰を入れて炭を使用することも可能です。炉縁とステンレスの風炉先があるので、茶席の雰囲気が締まります。中板の棚

お茶は好きだけど、正座は苦手といふ人、マンションとかで自分で楽しみたいとかの欲求が聞こえます。新しい立札卓について考える時、核家族化で家中で余分な空間が望みにくいう状況ならば、日常の生活の空間を如何に茶席に変えるかと考える方が、意味があるのではないか。

昔の人が生活のすぐ隣でお茶を楽しんだのと同じような距離感を実現するには?とか、いろいろな思索の中から生まれたのがこの「天遊卓」です。点前と客のテーブルが一体になったものを作りたい。

膝に限りなく近い高さで、座敷で道具を扱うのに近い高さを追求したい。あまり和にシフトすること無くモダンでシンプルなデザインであること。

天遊卓の濃茶席

講演に引き続いだ寄付の広間の床を拝見。武者小路千家五代で、今年が三百年忌となる文叔の掛け物で、寿老人の画賛。

若宗匠の濃茶席が始まりました。

本席の床には利休忌を三日後に控えて、利休居士の消息の掛け物、淀川の風情をと菜の花と桜が入れられた南蛮の花入、香合は唐の藍彩が飾られました。若宗匠ならではの道具組で、この日はあえて古い道具を合わせて下さいました。

以上は若宗匠のご講演でのお話を茶席での問答を再編集したものです。

また、副席となつた美藻庵では、武者小路千家青年部OBの皆様が薄茶席の釜をかけて下さり、伝統と新しいものの対比をうまく見せて頂きました。

お茶は好きだけど、正座は苦手といふ人、マンションとかで自分で楽しむたいとかの欲求が聞こえます。新しい立札卓について考える時、核家族化で家中で余分な空間が望みにくいう状況ならば、日常の生活の空間を如何に茶席に変えるかと考える方が、意味があるのではないか。

昔の人が生活のすぐ隣でお茶を楽しんだのと同じような距離感を実現するには?とか、いろいろな思索の中から生まれたのがこの「天遊卓」です。点前と客のテーブルが一体になったものを作りたい。

膝に限りなく近い高さで、座敷で道具を扱うのに近い高さを追求したい。あまり和にシフトすること無くモダンでシンプルなデザインであること。

天遊卓の濃茶席

講演に引き続いだ寄付の広間の床を拝見。武者小路千家五代で、今年が三百年忌となる文叔の掛け物で、寿老人の画賛。

若宗匠の濃茶席が始まりました。

本席の床には利休忌を三日後に控えて、利休居士の消息の掛け物、淀川の風情をと菜の花と桜が入れられた南蛮の花入、香合は唐の藍彩が飾られました。若宗匠ならではの道具組で、この日はあえて古い道具を合わせて下さいました。

以上は若宗匠のご講演でのお話を茶席での問答を再編集したものです。

また、副席となつた美藻庵では、武者小路千家青年部OBの皆様が薄茶席の釜をかけて下さり、伝統と新しいものの対比をうまく見せて頂きました。

での距離ではないで

しょうか。

一尺四寸

よりも少しこ

小振りの風炉を置くことも出来ます。

日常の気軽な茶会から本格的な茶事までも可能となります。炭点前も出来ま

すし、懐石の道具を置いても支障がな

いよう寸法を確保してありますので、

まるで小間で茶事をするような距離感

で、主客が炉を囲んで、茶事を楽しむ

ことが出来ます。実際に古い道具も映

えるので、まさにリビングを茶室にし

てしまう多機能充実のスグレモノの完

成と言えるのではないでしょか。

これが出来ます。実際に古い道具も映

えるので、まさにリビングを茶室にし

てしまう多機能充実のスグレモノの完

成と言えるのではないでしょか。



文化通心取材ノート

ご愛読ありがとうございました。

好 評をいただきておりました茶ギャルを前号で終了させていただきました。

した。

文化通信を7年前にリニューアルする際「若い人達のお茶に対する意識を知りたい」と言う目的で企画しました。若い人達が生活の中でどのようにお茶に接しているかを知りたかったからです。二十九人の方に無理をお願いして様々なお話を聞きましたが誌面上で紹介できたのはその一端に過ぎません。

「お茶を始めたきっかけは?」取材の中で必ず聞いていたのがこれでした。



「お茶する」と言えばコーヒーや紅茶が当たり前になっている中で、「彼らはなぜお茶の世界に飛び込んだのか」を聞きました。

「家族がお茶を習つていて」「友達に誘われて」などのきっかけが多かったです。が、多くの方が語ってくれたのが「日常と違う世界へのあこがれ」でした。

それまで興味が無くても、一度お茶席を経験すると喧噪とした日常生活とは違う未知の世界に興味を覚え、習い始めたようです。

愛 国心が話題になる中、彼らはお茶を通じて日本文化の良さを再認識

したようです。

「役に立つていてることは?」と聞くと、ほとんどの方がお茶を習っている時をリフレッシュする時間ととらえていました。

時間に追われる生活の中で自然を感じ、ゆっくり自分を見直すことの出来る貴重な時間と大切にしているようです。もう一つ聞いていたのが「習つて何かが変わりましたか?」ということでした。習い初めて一年ぐらいの方から何年も習っている方、様々でしたが、数多くの方から競争を強いられ、他人を押しのける事を教えられて育った彼らが「他人を思いやる心」に新鮮な驚きを感じたようです。亭主をつとめた時は

もちろん、お手伝いをしている時にもお客様の事を常に考えながら行動することで充実感を覚えていたようです。

家 族みんなでもっとお茶を楽しむ時間を作つてもらいたい。取材を通して感じたことでした。

昔は親戚や友達の家に行く時の手みやげは和菓子でした。しかし最近はケーキや焼き菓子などの洋菓子が多くなっています。

どうぞお茶をいただく風景が想像できます。ではなぜ洋菓子が増えたのか?噂のお店、評判のケーキ…。手みやげに必要なことは話題になつていてのかも知れません。和菓子にも話題を作れないか?そんな気持ちは沸いてきました。

和 菓子を手みやげに持つていっても話題を提供できるような。いただ

いた和菓子をいただく時にも家族で会話が弾むような。今号から始まる「お菓子な話」では、知つてているようで知らない人しか知らない、そんな和菓子の話を紹介していきたいと思います。ご期待下さい。

生活様式が西洋化し、日常生活空間も「畳に座る」から「椅子に座る」に変化し、を感じたようです。亭主をつとめた時は

財団行事予定

(六月～八月)

◆ 和菓子講座 高橋初乃先生

六月八日(金)、七月十三日(金)、八月十日(金)

◆ 午前十時～十二時

六月八日のみ都合により午前九時三十分)。季節の和菓子を一・三点作ります。

◆ 月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

六月十九日(火)、七月十七日(火)、六月二十四日(火)、八月二十八日(火)

◆ 午前十時～午後四時迄

八月はお休みさせていただきます。自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ 南方録を読み解く 伏見章先生

六月二十六日(火)、

七月二十四日(火)、八月二十八日(火)

◆ 「午後一時三十分」

◆ 懐石講座 三友居 山本勝先生

七月三日(火)

◆ 「午前十一時・午後三時」

◆ 「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要です。お申し込み、お問合せは、当財団事務局まで(水曜日休館)

高松市番町二丁目一一一二

□(087) 826・3355



喫茶居（三十） 「米寿の茶会」

深い知識と穏やかなお人柄で慕われる茶道の先生のご長寿を祝う茶会に招かれました。

米を筆跡分解した八十八にちなんだ「米寿」とは思えぬ若々しい先生を正客に迎えて張り切る水屋には、しばらくお稽古を休んでいる人の懐かしい声や、お稽古を始めたばかりの中学生の緊張が交じりながらも、亭主は客が喜ぶように、客は亭主の困らぬようにと、日頃おそわってきた総集編の席が整つたようです。

これまで、誰もが経験する出会いと別れの繰り返しがありました。いつもお茶と一緒に幸せでした」と喜びと感謝のお礼でしめくられた茶席で披露された思い出話は、「日々是好日」を説く先生のお茶人生の足跡がしのばれるものばかりでした。

春のひととき、先生の更なるご健康とご多幸、そしてますますのご活躍を祈念した一椀の茶の名残りを惜しました。

お菓子な話 その1

ガングロかまど？

「かまど」と言えば手みやげの定番。嫁の実家の法事に行く時にお店に寄りました。いつもなら車で待っているのですが、その時はナニゲに店内へ。

美味しい和菓子やケーキ、焼き菓子が並んでいる店内に見慣れないモノが…。その名も「かまてん」。どうも「かまどのてんぶら」らしい。色白のかまどに対して、こんがりと焦げ茶色。これはA型の衝動買い気質が放つて置くわけがない。法事もそこそこに家に帰って…さあ。で、飲み物はお茶？コーヒー？「かまどやからお茶やろ」と言うことで家族全員がワクワク。

食してみました。思ったよりも脂っこくない。まわりが香ばしく中の黄味餡を引き立てる。昔、紅白のお饅頭を貰った時に作ってもらった揚げ饅頭を思いだした。懐かしくも新しい味の発見であった。

なにより荒木屋さんの英断に驚きである。代表的なお菓子を使った新しい挑戦に拍手を送りたい。

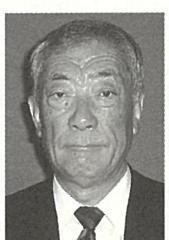


リレートーク

私の醸談

川鶴酒造株式会社
監査役

川人洋造



文化の殿堂とも言われる新聞テレビは、政治、国際、経済、環境、生活、社会面に触れることが多く文化面は殆ど読むことがない。いわば文化欠落生活をしている自分にとっては、中条文化振興財団からの情報は貴重な文化の香りとなっています。

文化と言えるかどうか判りませんが、酒を通して自分流に醸していることを少し記してみたいと思います。

昭和54年、豊浜町出身の内閣総理大臣大平正芳が初の施政方針演説の中で「：経済中心の時代から文化重視の時代に至つた：文化の重視、人間性の回復をあらゆる施策の基本理念に据える：」と述べてからもう30年を数えようとしている。その大平総理が田中内閣の外務大臣として日中国交回復に訪中したとき、中国の国酒であるマオタイ酒で歓迎されたと聞く。そのころ東京の迎賓館では外国の国賓を歓迎するのにワインとかシャンパンが使われていたが、大平外務大臣が帰国した頃から日本酒を使うようになったと聞く。ある時、アフリカの国賓が来日したとき、外務省の担当者が、銀座で水割りを勧めたところ「貴方の国には酒がないのか？」と言われて苦笑したといふ笑えない実話が残っている。そのころから外務省の役人が海外勤務するときには事前に日本文化の特訓をすることになつていると聞いていた。

太平洋戦争で焼け野原になつた高松が復興を始めたのは、僅かな石畳の通りに居酒屋が並ぶ古天神辺りからだと聞いていたが、いつの間にかその石畠の上へアスファルトが塗られて風情を失つていた。その後、心ある市長さんが石畠を復元してくれたのはうれしいことであった。戦後高松は日本一の芸処と言われていたが、「芸者地元で流

行らず」と言われるよう今ではその姿はない。芸者は日本文化の修行を積んで酒席の作法を心得て、客を持てなしたのだが今では見る影もない。ところが来日した外国人が知っている日本の事というと、ゲイシャ、サキ、フジヤマ、キャラオケとなるから世の中は不思議である。

酒博士で有名な坂口謹一郎氏によると酒の甘辛は、戦争と平和に強い相関関係があるらしい。つまり戦争の時代は甘くなり、平和が到来すると辛くなっていることを研究成果として発表された。人間の嗜好が戦争と平和で変化していくと言うことなのでしょう。

そう言えば終戦直後の甘い濃い酒が今ではさらりとした辛口が多くなつていて感じる方もまだ大勢おいでいることでしょう。戦時中に政府の徴税手段として生まれた特級酒、一級酒、二級酒に慣らされた方も今は喜寿米寿卒寿にならっています。戦争では味覚異覚の好みの感性までも奪つたのでしょうか、失礼な言い方ですが、ご自分の好みに自信が持てない方によく出会います。10人十色の人間を10人一色にしてきた戦争のなせる業でした。

最後に、私を醸してきました酒詩があるのです。1885年生まれの董必武が日本人友人に贈った5言2行の酒詩です。「支持唯正義 挙酒數蓬萊」高松在住中国人季紅娘の訳にいよれば「正義があれば支持は得られる、酒杯を挙げれば蓬萊の仙人（仙山）を数えることが出来る」となる。私流に言わせれば「つまらん事をするくらいなら酒を飲んで仙人に逢つた方がましである。」この詩を贈られた日本人は今何處？逢つて

茶 華 道 ガ イ ド

安部流洗心会四国支部 ☎(0877)86-3442

8/5 蓮見茶会 席主：安部流四国支部
栗林公園商工奨励館
1,200円 6:30～14:00

一茶菴流香川県支部 ☎(087)835-3140

6/9・10 高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2007
第34回茶会といけ花展 9:00～16:00
9日茶席席主：一茶菴流香川県支部
サンポートホール高松
デックスガレリア 500円
花展：各流派 サンポートホール5F
第2小ホール 300円

江戸千家不白会香川支部 ☎(087)851-5330

7/8 県 月金 席主：川崎恵雪
栗林公園掬月亭 500円 9:00～15:30

表千家同門会香川県支部 ☎(087)865-6985

6/10 高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2007
茶会といけ花展
席主：表千家同門会香川県支部
サンポート デックスガレリア 500円
9:00～16:00

7/8 表千家流四季茶会 席主：美澤宗包
中條文化振興財団 500円 9:00～15:00

華道一生流 ☎(087)821-4347

6/9 華道一生流による公開講座
席主：和田宗甫 サンポート市民ギャラリー
無料 10:00～12:00

助小原流高松支部 ☎(087)833-9274

8/26 夏休み親子いけばな体験講座
席主：小原流
高松市総合福祉会館6F大会議場
500円 10:00～12:00

三癸亭賣茶流高松仙友会 ☎(087)831-6253

6/10 三癸亭賣茶流高松仙友会茶会
1席席主：石原恵子
2席席主：木村千鶴栄、田村京子、多田美千子
披雲閣檻の間 1,100円 9:00～15:30

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

6/3 多度津分会月金 席主：氏家宗鶴
総合スポーツセンター 500円 12:00～15:00
6/10 坂出分会坂出菖蒲茶会 席主：坂出C班
川津菖蒲園 300円 10:00～15:00
7/1 觀音寺分会月金 席主：平宅宗弥
働く婦人の家 500円 12:00～15:00
7/1 善琴分会月金 席主：安井宗善
善通寺樟蔭軒 500円 9:00～14:00
7/15 坂出分会月金 席主：秦宗孝
勤労福祉センター 500円 10:00～15:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)834-8433

6/3 月金 席主：鈴木宗浩
天神会館 600円 9:00～16:00
7/1 月金 席主：遠藤宗敏
天神会館 600円 9:00～16:00
8/5 蓮茶 席主：井上宗修、高原宗知
栗林公園掬月亭 1,200円 6:30～14:00

石州流讚岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

8/5 七夕茶会 席主：安西社中
池戸西徳寺 1,000円 8:00～16:00
東讃茶道懇話会 ☎(087)898-0391
6/17 月金 席主：大社レイ子
池戸西徳寺 500円 9:00～16:00
8/5 第45回七夕茶会
本堂席主：石州流、東讃茶道懇話会
書院席主：表千家流、東讃茶道懇話会
池戸西徳寺 1,000円 8:00～16:00
(7:30茶筅供養 古茶筅をご持参下さい)

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

6/17 月金 席主：三好守綾社中
香川県文化会館4F 500円 9:00～15:00
7/1 月金 席主：松原律子社中
香川県文化会館4F 500円 9:00～15:00
武者小路千家善通寺官休会 ☎(0877)62-1760
6/15 御誕生茶会
席主：武者小路千家善通寺官休会
総本山善通寺 500円 10:00～15:00



次の期間（9月1日から11月末日）の情報を8月10日までにお知らせ下さい。

お茶室体験学習

4月18日（水）四番町小学校六年生の皆さんがあお茶室の体験学習に来られました。利休に始まる茶の湯のことや、茶室の意味などお茶の先生から説明を受けた後、実際に助け合いながら小間にじり口を通ったり、お茶を点てる体験をしていただきました。短い時間でしたがお礼のお手紙をいただきましたので、掲載させていただきます。ありがとうございました。



上記予定は変更する場合もあります。

イ ベ ン ト ガ イ ド

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

7/9～10 オーケストラ鑑賞教室
「関西フィルハーモニー管弦楽団」
大ホール 9日11:00～、13:40～、
10日10:00～、12:30～、14:40～●
7/19 レニングラード国立バレエ

大ホール 18:30～●
7/21～22 第12回「スタンウェイピアノ」
リレーコンサート 9:00～●
あーとらんど ギャラリー ☎(0877)24-0927

5/31～6/12 浅原千代治吹きガラスグループ展
11:00～●
6/16～7/1 北川健次展
7/5～16 暮らしの中の骨董展
7/19～8/26 様々な邂逅展
11:00～●

炎まん美術館 ☎(0877)75-3000

5/25～6/5 たなかあつし木のものがたり展 9:00～■
6/8～12 築山窯展 篠原拓生 9:00～■
6/15～19 游友展 9:00～■
6/22～26 日本画・水彩画二人展 9:00～■
6/29～7/3 「私のCARICATURE」展
風刺画 9:00～■
7/6～10 三好厚男作陶展 9:00～■
7/13～17 ガラス日和展 9:00～■
7/27～31 フォトクラブ桃陵展 9:00～■
8/3～14 国工同好会展 9:00～■
8/17～21 「いいお顔」写真展 9:00～■
8/24～28 伊藤ゆか水彩画展 9:00～■
8/31～9/4 中村芳弘漆芸展 9:00～■

多度津町民会館 ☎(0877)33-3330

7/1 第17回七夕カラオケコンサート
10:00～■
8/5 第38回たどつ夏まつり 14:00～■
8/24 宝くじまちの音楽会
南こうせつwithウー・ファン心のうたコンサート
18:30～●

イベントガイド

香川県文化会館 ☎(087) 831-1806

- 5/30~6/10 第72回香川県美術展覧会
 (第1期／洋画・彫刻) 9:00~●
 6/13~24 (第2期／日本画・写真) 9:00~●
 6/27~7/8 (第3期／工芸・書) 9:00~●
 7/13~16 (受賞作品展) 9:00~●
 5/30~7/16 あのころの県展
 -受賞作品にみる1950~70年代-
 9:00~●
 7/21~29 夏休みこどもアートミュージアム
 -アートで遊ぼ、美術たんけん- <前期>
 8/7~8/26 <後期> 9:00~●

香川県歴史博物館 ☎(087)822-0002

- 6/19~9/5 琴平工業徒弟学校と讃岐一刀彫
 ~香川の伝統工芸~ 9:00~●
 6/21~9/5 讃岐の仏教美術
 ~収蔵コレクション紹介~ 9:00~●
 7/21~9/2 夏休み子どもミュージアム
 濱戸内海をクジラが泳いだ 9:00~●
 6/17 歴史講演会
 「四国の聖~今弘法あらわれる~」 13:30~■
 7/1 シリーズ歴史講座~歴史の中の港町①
 「国府の港・松山津」 13:30~■

高松市美術館 ☎(087)823-1711

- 4/20~6/3 ルネ・ラリック展 一光への軌跡ー
 2F展示室 9:30~●
 7/20~9/2 造形集団 海洋堂の軌跡展
 2F展示室 9:30~●

高松市中央図書館 ☎(087)861-4501

- 7/26 手作りおもちゃこうざ
 3階第1集会室 13:00~■
 8/17 夏のおたのしみ会 視聴覚ホール 14:00~■
 菊池寛記念館 ☎(087) 861-4502

- 6/2 「讃岐の女性」 講師：薄井八代子
 サンクリスタル高松3階第1集会室 13:30~■
 7/7 「与謝野晶子が香川に残したもの」
 講師：田山泰三
 サンクリスタル高松3階第1集会室 13:30~■
 8/4 「菊池寛の友 吉川英治」
 講師：土居邦子
 サンクリスタル高松3階第1集会室 13:30~■
 6/15~7/22 菊池寛記念館第16回文学展
 「与謝野寛・晶子」展
 サンクリスタル高松4階特別展示室 9:00~●

- 6/16 講演会「晶子を誇る」
 講師：難波利三
 サンクリスタル高松視聴覚ホール 13:30~■
 7/15 朗読・講演会「晶子は訴えるー『君死にたまふことなけれ』から椎名書簡、そして現代へ」
 サンクリスタル高松視聴覚ホール 13:30~■
 6/23 第13回「与謝野晶子短歌文学賞」表彰式
 サンクリスタル高松視聴覚ホール 14:00~■
 6/24 特別プログラム「選歌の現場」
 サンクリスタル高松視聴覚ホール 9:30~■

高松テルサ ☎(087) 844-3511

- 6/9 弦楽の集い ホール 13:30~■
 6/10 音楽の森 ピアノ発表会
 ホール 9:30~■
 7/26 濱戸和紀フルートリサイタル
 ホール 18:30~●

玉藻公園 ☎(087) 851-1521

- 6/2~30~8/4 菊作り講習会 披雲閣
 6/3 第23回英公様追悼游泳祭 内堀
 6/10 三癸亭賣茶流高松仙友会茶会 披雲閣
 6/13 あげばの句会 披雲閣

オリーブホール ☎(087)861-0467

- 6/3 「Angelo」 18:00~●
 6/21 「SHAKALABBITS」 19:00~●
 6/23 「BEAT CRUSADERS」 19:00~●
 6/24 「GOING Under Ground」 18:00~●
 7/1 「劇団EMPTY2007夏」 香川大学劇団EMPTY 18:00~●

高松市教育委員会文化振興課 ☎(087)839-2636

- 6/3 ふるさと香川芸能まつり2007
 香川町農村環境改善センター 12:00~■
 6/24 ふるさと探訪「十河城跡を訪ねて」
 見学地:光清寺・鷺池・称念寺など 9:30~■
 8/19 ふるさと探訪「林周辺を訪ねる」
 見学地:桜木神社・円城寺・平木出
 水など 9:30~■
 8/26 高松市文化財保護協会創立50周年記念式典・記念公演
 サンポートホール高松5F 第2小ホール
 14:00~■

(財)高松市文化芸術財団 ☎(087)825-5010

- 6/9~10 死のバリエーション
 サンポートホール高松4F第1小ホール
 9日18:00~・10日14:00~
 料金要問合せ

- 6/2~24 高松市民文化祭アーツフェスタかまつ2007
 サンポートホール高松他
 時間・料金は公演により異なる

- 7/7 音楽の絵本
 ~親子のためのクラシックコンサート~
 サンポートホール高松3F大ホール
 14:00~ 料金要問合せ
 8/28~29 劇団四季「夢から醒めた夢」
 サンポートホール高松3F大ホール
 18:30~ 料金要問合せ
 8/12 高松国際ピアノコンクール
 ファイナリスト・コンサート
 サンポートホール高松4F 第1小ホール
 18:00~ 料金要問合せ

高松天満屋5階美術画廊 ☎(087)812-7750

- 6/12~18 還暦記念 日置南洲窯 西郷隆文薩摩焼展 10:00~■
 6/19~25 現代日本画壇の巨匠 平山郁夫展 10:00~■
 7/24~30 木村圭吾 日本画展 10:00~■

四国ガス ☎(087)821-0248

- 6/14 初夏の絵手紙ワンポイント講習
 ピポット 10:30~●

ヨンデンフラザ高松 ☎(087)851-3863

- 6/1~3 第3回シャルウイ絵画作品展
 「会員20名による絵画20点の展示」
 6/12~17 第13回研陶酔会作品展
 「会員20名による陶芸作品約150点の展示」
 6/19~24 竹細工
 「会員約30名による竹細工約150点の展示」
 6/26~30 ドールハウス展
 「会員20名によるドールハウス等約50点の展示」

ヨンデンフラザ・サンポート ☎(087)811-3744

- 6/3 「水無月コンサート」
 ~ヴィオリラと遊書のコラボレーション~
 13:00~、15:00~■

土庄町教育委員会 ☎(0879)62-7013

- 8/26 第8回小豆島童謡音楽祭 童謡の祭典
 土庄町立中央公民館 13:30~ 料金未定

ストーンミュージアム ☎(087)871-2200

- 4/28~6/30 石の彫刻展2007 9:00~●

とらまるバベットランド ☎(0879)25-0055

- 6/1~3 「マリオネットの小さな作品集」
 人形劇団ココン 13:30~●
 1日のみ 10:30~●

- 6/6~10・16~17・23~24 「はっけよーい、のこった」
 とらまる人形劇団 13:30~●
 6~8日のみ 10:30~●

- 6/31~7/1 「潛水海賊キャプテン・グック」
 人形劇団京芸 13:30~●

- 7/7~8/14~16~28~29、8/7~10~16~19~21~26 「アラジン、はじめての冒險」
 とらまる人形劇団 13:30~●

- 7/21~22 県内のアマチュアサークルが大集合
 夏休み人形劇祭 13:30~●

- 8/1~5 「ドンドンと三びきのオオカミ」他
 人形芝居ぶか 13:30~●

- 8/11~15 「ピーターパンの大冒險」他
 トモキチ笑劇場 13:30~●

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

- 6/17 坂出ウッドプラスアンサンブル演奏会
 ホール 14:00~●

- 7/1 第49回坂出地区交歓吟剣詩舞道大会
 ホール 時間未定■

- 8/5 ハートフルスペシャル2007
 ホール 14:00~●

- 8/26 藤間勘武 夏のおどり
 ホール 13:00~●

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

- 6/10~24 美術の殿堂選抜展
 ~香川県文化会館所蔵品~
 丸亀市立資料館 9:30~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877) 24-7755

- 6/3 アーティスト・トーク 講師：石内都(写真家)
 テーマ：傷跡を撮りつづけて
 2Fミュージアムホール 14:00~(先着170名)■

- 7/15~10/8 エルネスト・ネト展
 3F展示室C 10:00~●

- 7/15~10/14 猪熊弦一郎展
 2F展示室A・B 10:00~●

- 6/9・16 ハッピー・アンブレラ!!
 ー楽しいカサをつくろうー 2F造形スタジオ
 10:00~(どちらか1日、事前申込必要)■

丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

- 6/24 「NHKのど自慢」公開生放送
 大ホール 11:00~抽選

- 7/14 あやうたサマーコンサート
 大ホール 19:00~●

●は有料、■は無料、▲は参加料、★は整理券が必要です。(記号表示は判明したもののみ)

「文化通心」第55号は9月1日発行です。次の期間(9月1日から11月末日)の情報を8月10日までにお知らせ下さい。 ☎(087)826-2212

上記予定は変更する場合もあります。

お知らせ

平成19年度助成金交付団体決定のお知らせ

第14回中條文化振興財団助成金を交付される団体が決定いたしましたのでご報告いたします。助成金は毎年3団体に贈られ、県内のいろんなジャンルの文化活動を微力ながら応援させていただきます。

助成金は1団体30万円。まったく実績のない団体でも企画と熱意しだいで受けられる可能性があるのが特徴です。来年度の応募に付ましては、年度を通して受付けております。応募期限は平成20年1月末日です。応募方法については、一定の書式もありますので、財団の事務局まで気軽に問い合わせください。

【助成金交付団体のプロフィール】

① 香川県立高松工芸高等学校 演劇部
代表 川田 正明

今回上演の作品「寂寞のせせらぎ」は、環境問題をヒューマンドラマに仕立て、演劇という芸術文化を身近なものとして親しめる、これまでに類を見ない新しい視点での作品創りに挑戦されております。

この作品で、香川県高等学校総合文化祭演劇部門にて最優秀賞・舞台美術賞受賞、12月に行われた四国地区高等学校演劇研究大会では、文部科学大臣賞受賞し、あわせて平成19年8月の全国高等学校総合文化祭にて上演も決定しております。今回、地元香川での上演が決定致しました。是非とも、高校生のメッセージが込められた舞台をご観劇下さいますようお願い致します。

日時 平成19年7月21日(土)
15時30分開場 16時開演
場所 ユープラザうたづ ハーモニーホール

料金 入場無料(入場整理券)
財団にお申し込み下さい。

② NPO法人・かがわサンサン俱楽部(綾歌町)

代表 亀山 啓司

前回に続き2回連続の交付となりました。日々の生活の中にありながら、忘れ去られようとしている地域の特色ある歴史や伝統文化匠の技を次世代へ継承していくことを主な目的とされております。

高校生を対象に各地の民家のある風景を

写真に撮りレポートを提出し、その内容

を競っております。今年の「第5回民家

の甲子園」はテーマを「屋根」として作品

を募集しております。入賞校10校の最終ブ

レゼンテーション審査が開催されますので

是非ご参加ください。入場は無料です。

日時 平成19年7月28日(土) 展示・

29日(日)プレゼンテーション

香川県高松市サンポート高松

デックスガレリア

予告 あ・うんの数寄大茶会 第3弾

ぐるぐり高松さあしどぞ!

10月21日(日) 開催。

編集後記

手つくり、手書き、手縫い、手

編み等々、人の手の技によってつくり出されるものを考えてみました。分野は様々でしょうが、身のまわりにはたくさんありますね。

形となって残るものもあれば、形がなくなってしまうものもあります。いずれにしても、それらを

目にした時、つくり手の「心」を感じ、同じ想いをめぐらすことがあります。いざれにしても、それらを

できれば、それはとても素晴らしいことになります。いざれにしても、それはとても素晴らしいことになります。

手みやげにもその「心」を添えて。

〔声・情報お寄せください〕
〒760-0017 高松市番町二丁目一一一
(財)中條文化振興財団編集部
TEL (087)826-3355
FAX (087)826-2212
info@chujo-zaidan.or.jp



ヤング・ヤングサンポート茶会
命お茶を点てました。お運びも真剣です。お客様になつた親御さんも、初めて見る子供達の表情にビックリしておられました。

「文化通心」第55号は平成19年9月1日発行です。